

1 赤玉が2個、白玉が2個入った袋の中から、玉を1個取り出し、それを袋に戻してからもう1つ球を取り出すとき、次の確率を求めなさい。

① 2回とも赤玉が出る確率

② 少なくとも1回は白玉が出る確率

③ 1回も白玉が出ない確率

2 1から4の数が1つずつ書かれた4個のボールが入った袋の中から、ボールを2個同時に取り出すとき、次の確率を求めなさい。

① 数の和が4となる確率

② 数の和が偶数となる確率

③ 数の和が3以下となる確率

1 赤玉が2個、白玉が2個入った袋の中から、玉を1個取り出し、それを袋に戻してからもう1つ球を取り出すとき、次の確率を求めなさい。

① 2回とも赤玉が出る確率

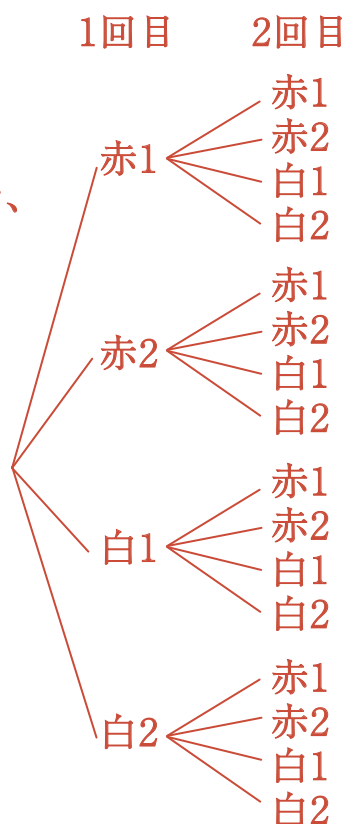
$\frac{1}{4}$ 起こりえる場合は全部で16通りあり、
2回とも赤玉が出る場合は
(赤1,赤1)(赤1,赤2)(赤2,赤1)(赤2,赤2)の4通りで、
求める確率は $\frac{4}{16} = \frac{1}{4}$ となる。

② 少なくとも1回は白玉が出る確率

$\frac{3}{4}$ 起こりえる場合は全部で16通りあり、
少なくとも1回は白玉が出る場合は
12通りなので、求める確率は $\frac{12}{16} = \frac{3}{4}$ となる。

③ 1回も白玉が出ない確率

$\frac{1}{4}$ 起こりえる場合は全部で16通りあり、
1回も白玉が出ない場合は
4通りなので、求める確率は $\frac{4}{16} = \frac{1}{4}$ となる。



2 1から4の数が1つずつ書かれた4個のボールが入った袋の中から、ボールを2個同時に取り出すとき、次の確率を求めなさい。

① 数の和が4となる確率

$\frac{1}{6}$ 起こりえる場合は全部で12通りあり、
目の和が4となる場合は2通りなので、
求める確率は $\frac{2}{12} = \frac{1}{6}$ となる。

B \ A	1	2	3	4
A \ B				
1			○	
2				
3	○			
4				

② 数の和が偶数となる確率

$\frac{1}{3}$ 起こりえる場合は全部で12通りあり、
目の和が偶数となる場合は4通りなので、
求める確率は $\frac{4}{12} = \frac{1}{3}$ となる。

B \ A	1	2	3	4
A \ B				
1			○	
2				○
3	○			
4		○		

③ 数の和が3以下となる確率

$\frac{1}{6}$ 起こりえる場合は全部で12通りあり、
目の和が偶数となる場合は2通りなので、
求める確率は $\frac{2}{12} = \frac{1}{6}$ となる。

B \ A	1	2	3	4
A \ B				
1		○		
2	○			
3				
4				